

# 低圧セカンダリー市場の現状と 長期安定電源化に向けて



2024/11月



# 会社概要

# 対象会社概要

会社名 : 株式会社グッドフェローズ

設立 : 2009年3月6日

所在地 : 東京都品川区西五反田7-13-5 DK五反田ビル8F

代表者 : 代表取締役社長  
長尾泰広

資本金 : 10,000,000円

従業員数 : 42名

URL : <https://www.goodfellows.co.jp/>

事業概要 : 再エネメディア事業  
電源開発事業  
太陽光発電関連部材卸売事業  
スイッチビズ事業

取引銀行 : みずほ銀行（目黒支店）  
三菱UFJ銀行（目黒支店）  
りそな銀行（室町支店）

## No Re-new, No Future

『変革のない未来はない』




## Vision

『日本』を代表するエネルギー企業になり、  
『再エネ100%』の実現に貢献する

# 当社事業の概観



**BUSINESS AWARD**

ベンチャー通信  
**ベストベンチャー100 6年連続受賞!**

太陽光発電 遠隔監視サービス  
**エコめがね 7年連続 販売台数No.1**  
NTTスマイルエナジー様

安川電機製  
**パワーコンディショナー 3年連続 販売台数No.1**  
安川電機様

# 低圧セカンダリー市場に参入

**グッドフェローズ、低圧中古太陽光発電所の買取りを1,000区画目指す。SPC子会社を設立し、大和エネルギー・インフラ株式会社（大和証券グループ）と資金調達及び業務提携で合意。**

グッドフェローズ 2023年4月7日 16時00分



株式会社グッドフェローズ（以下、「当社」）は、大和エネルギー・インフラ株式会社（以下、「DEI」）との間で、FIT低圧太陽光分野での案件集約・長期電源化を目的とする業務提携にかかる覚書を締結したこと、及び当社の100%子会社であり、FIT低圧太陽光発電所の買取・再販事業を営むGFD合同会社（以下、「GFD」、当社と総称して「GFグループ」）に対する資金調達を行う契約を締結したことをお知らせいたします。本業務提携により、当社グループは、今後数年間で1,000区画の買取実績を目指し果敢に取り組んでまいります。



グッドフェローズ、SPC子会社を設立し、大和エネルギー・インフラ株式会社と資金調達及び業務提携で合意



# 目的とアジェンダ

## 【本日の目的】

低圧セカンダリーの理解と長期安定電源化への道筋を提言

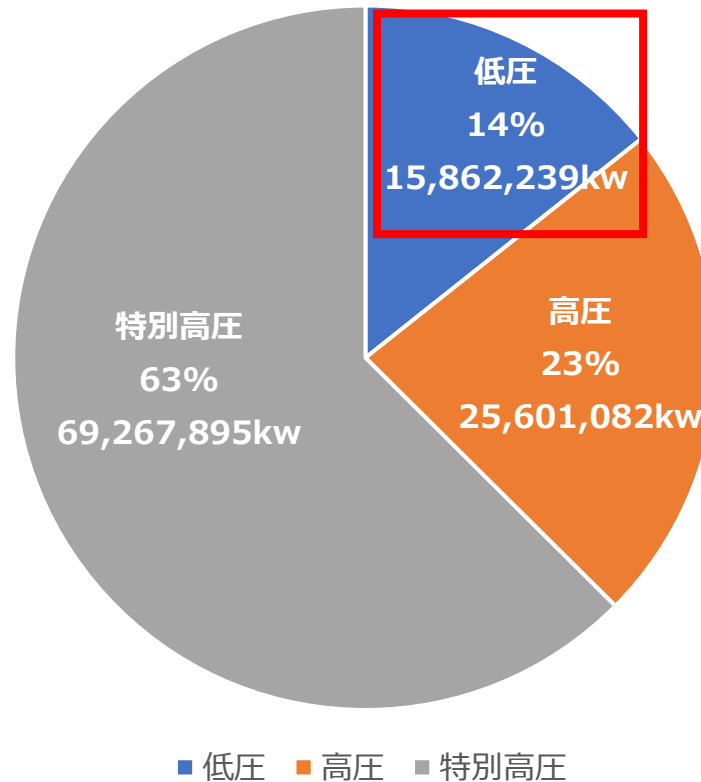
## 【アジェンダ】

1. 低圧セカンダリー市場の現状と課題
2. 長期安定電源化に向けた提言
3. 当社の役割

# 1. 低圧セカンダリー市場の現状と課題

## ○ 低圧セカンダリー市場規模 容量別

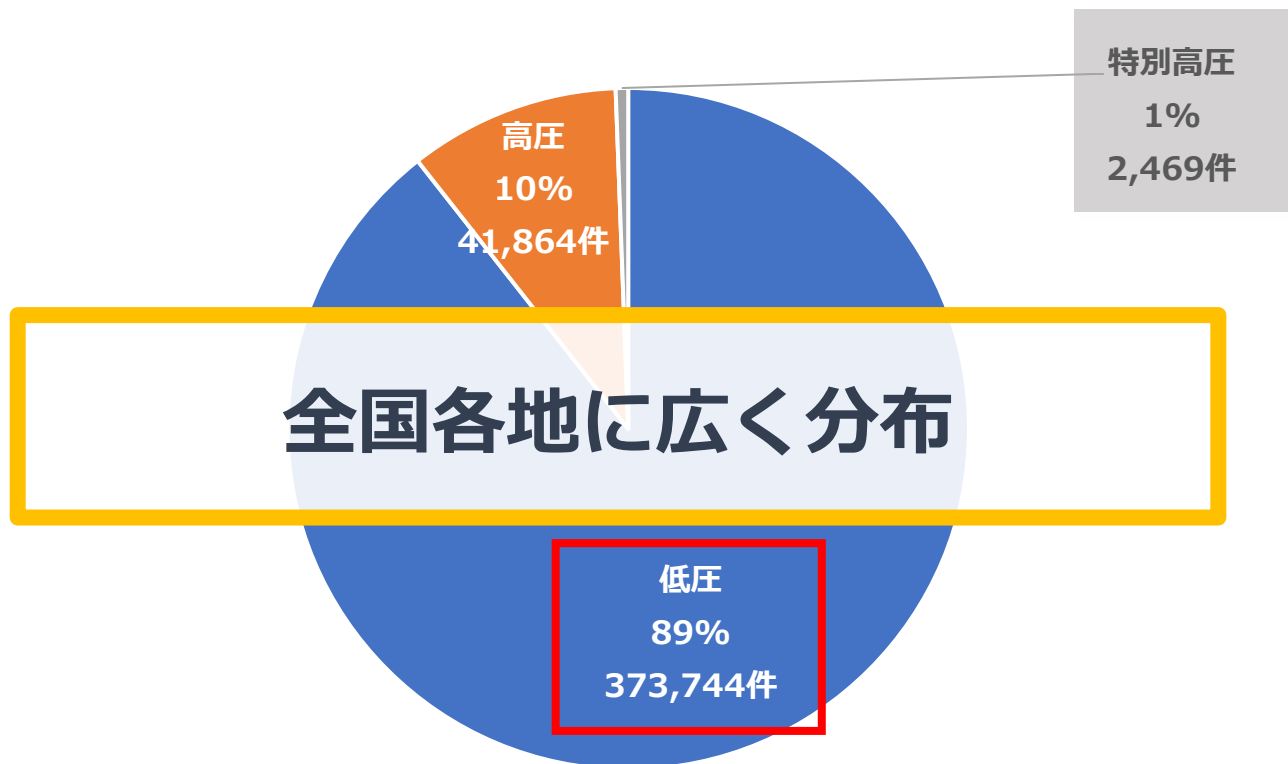
市場全体電圧区分別※容量 (kw)



参照元：資源エネルギー庁 事業計画認定情報 公表用ウェブサイト  
2023年12月末時点

## ○ 低圧セカンダリー市場規模 件数別

電圧区分別市場全体※発電所数



■ 低圧 ■ 高圧 ■ 特別高圧

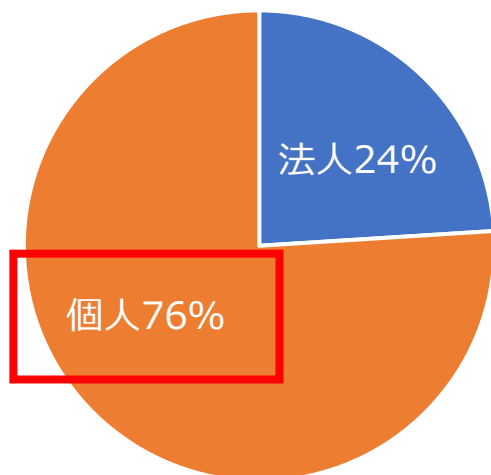
参照元：資源エネルギー庁 事業計画認定情報 公表用ウェブサイト  
2023年12月末時点

## ○ セルサイドとバイサイドの主要プレイヤー

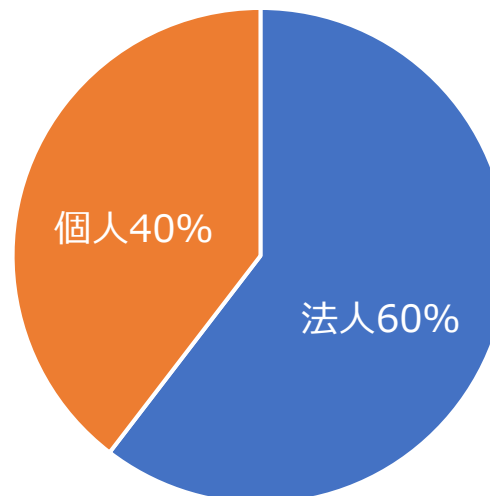
以下は、当社が手掛けた仲介・買取再販の顧客属性になります。

※2024年1～10月

売り手内訳



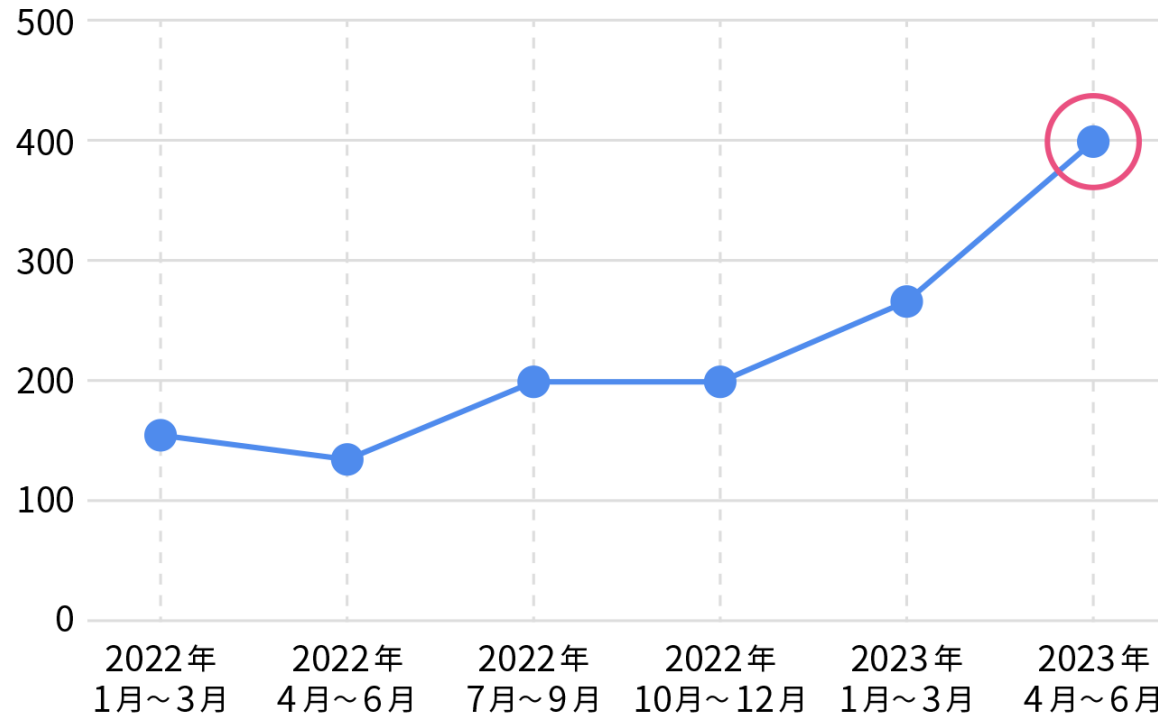
買い手内訳



**個人投資家の売却ニーズが高い**

## ○ 当社への売却依頼件数の推移

### 太陽光発電の売却件数推移



**2023年7月以降も需要は伸長**

## ○ 低圧セカンダリー売却の背景

1. 出力制御の増加に伴う、エリア格差
2. ケーブル盗難増加
3. 自然災害による保険料値上がり
4. 設備の老朽化と発電効率の低下。パワコンなど
5. 廃棄費用積立金



**事業予見性の観点で投資商品として魅力減**



## ○ エリア別売却ニーズ①

### <電力管内別の売却比率は？>

※2024年1月～6月末

#### ▼電力管内別の売却依頼比率

前回（2023年1月～6月）

1位：	関東：	28.64%	22.12%	2位
2位：	九州	22.03%	26.40%	1位
3位：	中部：	18.47%	15.19%	3位

### 太陽光発電施設で銅線ケーブル窃盗急増 警察庁が防犯対策強化

08月01日 12時15分



太陽光発電施設で送電用の銅線ケーブルが盗まれる被害が関東地方を中心に急増しています。金属価格の高騰が背景にあるとみられ、警察庁は、外国人を含む犯罪グループの取締りや防犯対策を強化するとともに、盗品の流通を防ぐ新たな法規制などについても検討を進めています。

警察庁によりますと、太陽光発電施設で送電用の銅線ケーブルが盗まれる被害はことし6月までの半年間に、全国で4161件発生し、1年間の被害が5361件だった去年を大幅に上回るペースで推移しています。

銅を含む金属価格の高騰が増加の背景にあるとみられます。

被害のおよそ9割が関東地方に集中していて、都道府県別の内訳は

▽茨城県が1196件と最も多く、

▽栃木県が821件、

▽千葉県が733件、

昨年の九州エリアに代わり

今年は関東エリアが1位

昨年は出力抑制（九州）、今年はケーブル盗難（関東）が影響していると思われる。

参照元：NHKwebサイト

## ○ エリア別売却ニーズ②

<売却依頼都道府県別ランキングベスト10>		
2024年（1月～6月）都道府県ランキング		
1	茨城	57
1	三重	54
3	宮崎	45
4	千葉	44
5	鹿児島	39
6	兵庫	27
7	群馬	23
8	栃木	21
9	北海道	19
10	山口	19

2023年（1月～6月）都道府県ランキング		
1	鹿児島	64
2	千葉	47
3	宮崎	41
4	三重	36
5	茨城	34
6	山口	31
7	栃木	28
7	滋賀	24
7	兵庫	23
10	徳島	20

都道府県別でも出力抑制とケーブル盗難の影響あり

## ○ 低圧セカンダリー市場とは

まとめ

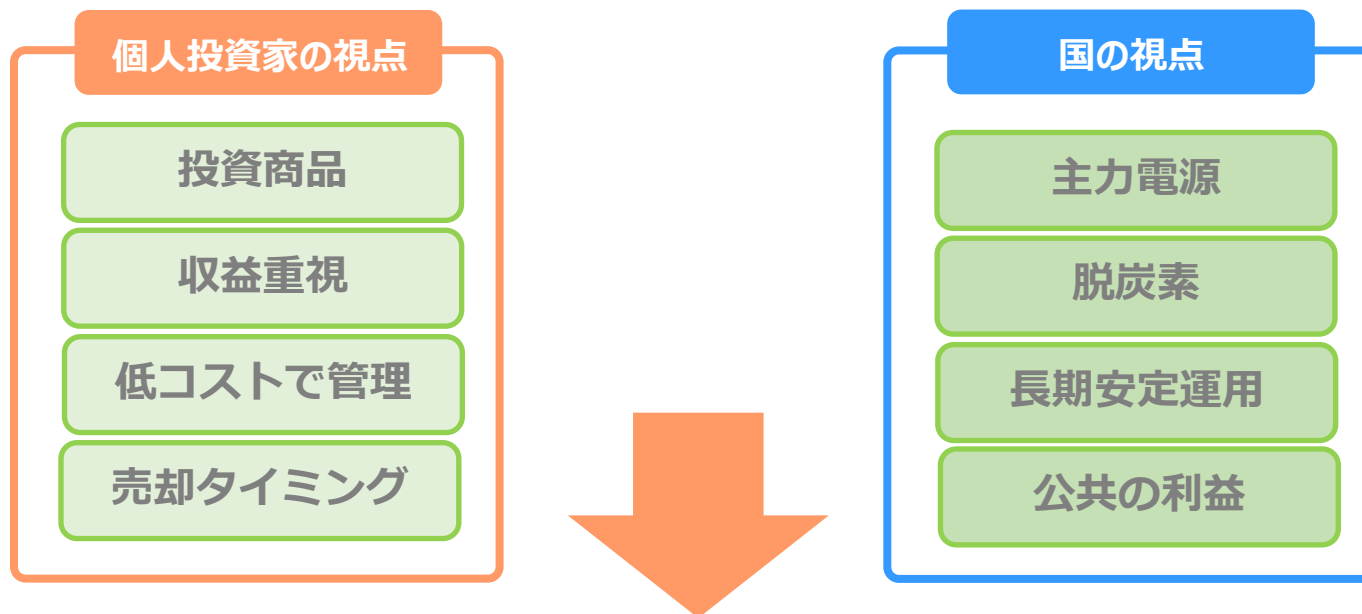
- FIT低圧セカンダリーは全国各地に広く分布
- 昨今、売却ニーズが高まっている
- 多くは個人投資家が所有
- 売却の背景は事業予見性の悪化



**売却ニーズが高まる一方で、  
買取りプレイヤーが少なく、未だブルーオーシャン市場**

## 2.長期安定電源化に向けた提言

## ○ 課題：低圧太陽光にかかる視点の相違点



柵塀の設置されない設備



不十分な管理で放置されたパネル



景観を乱すパネルの設置



参照元：資源エネルギー庁資料「今後の再生可能エネルギー政策について」

## ○ 課題：低圧太陽光にかかる視点の相違点

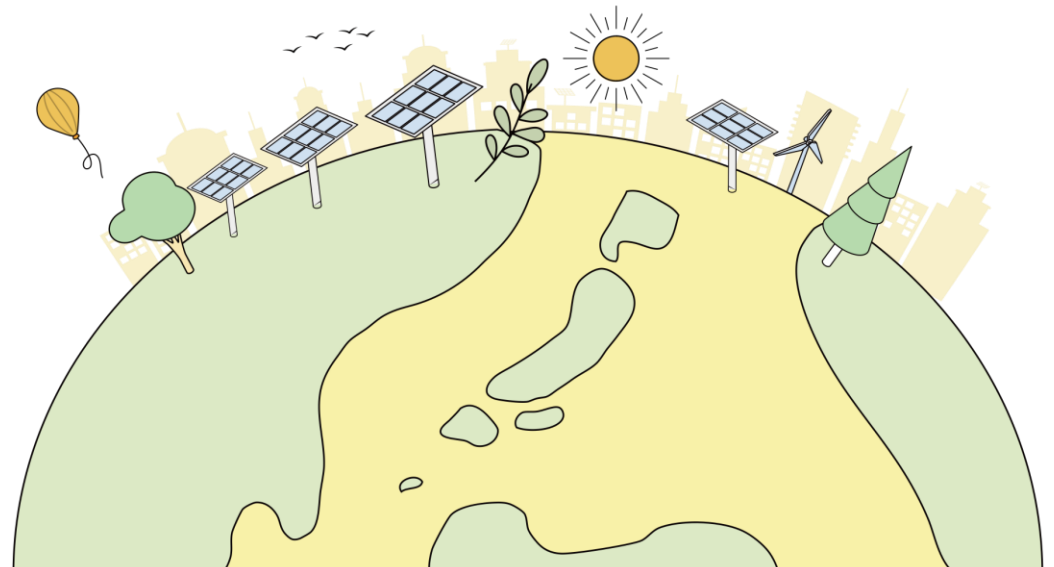
- ・FIT終了後も太陽光発電を長期安定的に運用するために、責任をもって維持管理できる企業への早期の集約化が必須
- ・所有者の売却ニーズが高まっている今の状況をチャンスと捉える



**現所有者の利益を損なわない形での  
低圧流通の活性化を促進する仕組みづくりが必要**

## 3つの提言

- ① インセンティブ～税制優遇や補助金～
- ② 中古市場の整備と情報の透明化
- ③ メンテナンス義務の強化



## ① インセンティブ～税制優遇や補助金～



### 売り手側に

- ・売却時の税制優遇  
売却益に対するキャピタルゲイン税の減免



### 買い手側に

- ・老朽化設備に対する補助金支援  
PCS交換費用等
- ・再エネ事業者への買取資金支援  
集約した事業者への資金援助や運用支援



## ②中古市場の整備と情報の透明化



売り手側に



買い手側に

- ・中古設備取引プラットフォームの利用促進  
(安全性と取引透明性の確保)



売り手側に

- ・価値評価とガイドライン提供
  - ・情報啓発キャンペーンの展開
- 老朽化した太陽光発電設備の発電効率低下や修理費用、事故リスクなどの保有リスクを明確に伝えるための情報を展開

### ③メンテナンス義務の強化

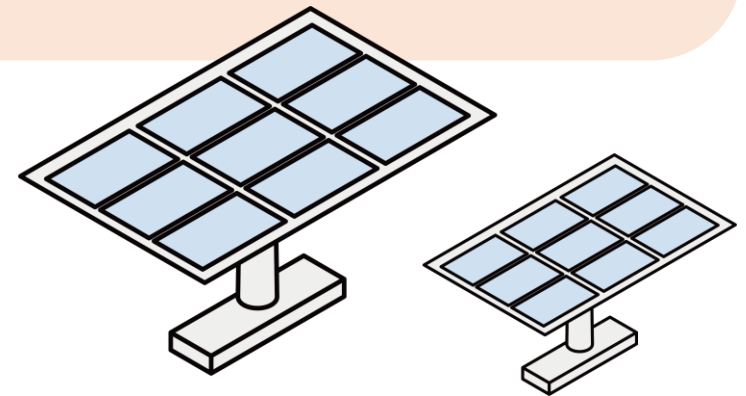


#### 売り手側に

- ・定期的なメンテナンス報告の義務化（違反時の罰則）

- ・発電効率の基準設定

発電効率が基準を下回った設備の廃止や改修を義務化。  
資金捻出が困難な発電事業者に売却を促す。



### 3.長期安定電源化にかかる当社の役割

## 当社の強みと実績

1.

国内No.1の再エネメディア  
の運営とマーケティング力



2.

業界最大規模の  
太陽光発電事業者データ  
(個人/法人)



3.

全国のEPCネットワーク

Google検索1ページ目  
3,377キーワード

事業用太陽光を保有する  
タイナビ会員

全国の販売施工会社との  
ネットワーク

※2024年9月末時点

15,511名

約1500社

セカンダリー流通実績

ページビュー  
890万PV/年

累計367件、総額63億円!!

※2023年度実績

※2023年度12月末時点

# 業界でいち早く低圧用盗難対策品を 企画・開発！

【業界初※1】グッドフェローズ、銅線盗難対策済み中古太陽光発電の販売を7月初旬より開始

グッドフェローズ 2024年5月28日 15時00分



0



株式会社グッドフェローズ（代表取締役社長：長尾泰広、以下「当社」）は、近年多発する太陽光発電設備の銅線ケーブル盗難対策として株式会社スマートパワーシステム（代表取締役社長：石川和希）と共同企画した「タイナビプロテクター」を当社が販売／仲介する中古太陽光発電設備に実装し、当社が運営する太陽光発電所の売買サイト「タイナビ発電所」内（<https://www.tainavi-pp.com/>）にて2024年7月初旬より販売することをお知らせいたします。

## タイナビプロテクターのサンプル品

※実際はサイズ等、異なります



切れない



低コスト



収益性を保護



タイナビプロテクターの施工例

これまでのナレッジを活かし、  
**取引プラットフォーム・買取り**  
**企業として、**  
低圧電源の集約化に貢献します

# No Re-new, No Future

